第6回 三朝町議会定例会会議録（第3日）

令和6年9月11日（水曜日）

議事日程

令和6年9月11日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第48号 令和6年度三朝町一般会計補正予算（第4号）
- 日程第2 議案第49号 令和6年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第3 議案第50号 令和6年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第4 議案第51号 令和6年度三朝町水道事業会計補正予算（第4号）
- 日程第5 議案第52号 令和6年度三朝町下水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案第53号 令和5年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第54号 令和5年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第55号 令和5年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第56号 令和5年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第57号 令和5年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第58号 令和5年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第59号 令和5年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第60号 令和5年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第61号 令和5年度三朝町水道事業会計決算の認定について
- 日程第15 議案第62号 三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第63号 三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第17 議案第64号 三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第18 議案第65号 三朝町国民健康保険条例の一部改正について

- 日程第19 議案第66号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正等について
- 日程第20 議案第67号 鳥取県後期高齢者医療広域連合規約を変更する協議について
- 日程第21 議案第68号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について

本日の会議に付した事件

(質 疑)

- 日程第1 議案第48号 令和6年度三朝町一般会計補正予算(第4号)
- 日程第2 議案第49号 令和6年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第3 議案第50号 令和6年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第4 議案第51号 令和6年度三朝町水道事業会計補正予算(第4号)
- 日程第5 議案第52号 令和6年度三朝町下水道事業会計補正予算(第2号)
- 日程第6 議案第53号 令和5年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第54号 令和5年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第55号 令和5年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第56号 令和5年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第57号 令和5年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第58号 令和5年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第59号 令和5年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第60号 令和5年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第61号 令和5年度三朝町水道事業会計決算の認定について
- 日程第15 議案第62号 三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第63号 三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第17 議案第64号 三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第18 議案第65号 三朝町国民健康保険条例の一部改正について

日程第19 議案第66号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正等について

日程第20 議案第67号 鳥取県後期高齢者医療広域連合規約を変更する協議について

日程第21 議案第68号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について

出席議員（12名）

1番 森 貴美子	2番 小 椋 泰 志
3番 河 村 明 浩	4番 吉 村 美穂子
5番 松 原 成 利	6番 松 原 茂 隆
7番 能 見 貞 明	8番 石 田 恭 二
9番 山 口 博	10番 藤 井 克 孝
11番 遠 藤 勝太郎	12番 吉 田 道 明

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

事務局長 新 寛 主事 菅 田 知 佳

説明のため出席した者の職氏名

町長	松 浦 弘 幸	副町長	赤 坂 英 樹
教育長	西 田 寛 司	総務課長	矢 吹 和 美
地域振興監	青 木 大 雄	会計管理者	山 中 恵 子
財政課長	吉 田 栄 治	町民課長	山 口 良 輔
建設水道課長	藤 井 和 正	福祉課長	岩 山 裕 和
観光交流課長	藤 井 紀 好	農林課長	山 本 達 哉
総務課参事	竹 本 将 樹	企画健康課参事	米 田 真
建設水道課参事	松 村 倫 明	教育総務課長	角 田 正 紀
社会教育課長	谷 川 篤 志	図書館長	毛 利 純

午前 9 時 5 8 分開議

○議長（吉田 道明君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 1 2 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届出のあった欠席者は、議員、当局ともにございません。以上、報告いたします。

日程第 1 議案第 4 8 号 から 日程第 2 1 議案第 6 8 号

○議長（吉田 道明君） お諮りいたします。本日の議事日程はお手元に配付しているとおりでありますが、議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 2 1 までの 2 1 件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 2 1 まで、すなわち議案第 4 8 号から議案第 6 8 号までの 2 1 件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1 件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第 4 8 号、令和 6 年度三朝町一般会計補正予算（第 4 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 4 9 号、令和 6 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 0 号、令和 6 年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 1 号、令和 6 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 4 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 2 号、令和 6 年度三朝町下水道事業会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 3 号、令和 5 年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について、まず、事項別明細書の 1 2 ページ、歳入の町税から、1 7 ページ下段、地方交付税まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、分担金及び負担金、1 8 ページ上段から 2 1 ページ下段、手数料、農林水産業費手数料まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、国庫支出金、国庫負担金、2 2 ページ下段から 3 7 ページ中段、県支出金、民生費委託金まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入、3 6 ページ上段から 4 1 ページ中段、繰越金まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、諸収入、4 0 ページ中段から 4 9 ページ、町債、臨時財政対策債まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳出の総務費、一般管理費、5 0 ページ中段から 6 5 ページ下段、監査委員費まで、質疑ありませんか。

1 1 番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 5 8 ページのふるさと応援寄附金一般経費の中で、ふるさと納税自動販売機手数料というのが上がっております。ふるさと納税、町長の弃でありますと、力いっぱい頑張ったということのようですが、このふるさと納税の自販機によって何件の件数を受け付

けたかっていうのをちょっと聞きたいですけど。

○議長（吉田 道明君） 藤井観光交流課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 遠藤議員の御質問にお答えをさせていただきます。

令和5年度ふるさと納税の自動販売機についてでございます。令和5年度はふるさと納税の自販機による寄附額については、226万7,000円でございます。59人の方が109の返礼品を……。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 何人、59人。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 59人が109の返礼品をこちらのほうから注文をされていらっしゃるようです。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） もう1点。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） ふるさと納税の返礼品っていうのは、米があると思うわけですが、米の確保っちゃうか、どのぐらいの量を確保されとったか、ちょっと聞きたいですけど。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 米の確保ということ言えば、返礼品を扱う事業者さんのほうが対応されるようになりますけれども、令和5年度の三朝米の発注状況で申し上げますと、全体として、件数としては80件ありました。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 何キロが用意してあるだいや。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 4キロが45件と、10キロが35件でございます。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員、最後。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 去年、これだけの量ってことですけども、今年の例を言うと、もう既に返礼品の米がないというような状況だと伺っております。そのような特裁米を多分扱っておられると思うんですけど、これに対応して、キープしてると思うんだけど、これ、年度途中で返礼品がないっていうような事態、おかしいと思われませんか。例えば余るほどキープしとったけど売れなんだっちゃうのは分かるんだけど、足らんっちゃう状況が発生するっちゃうこと、何とも思われませんか。例えば、今年なんか絶好のチャンスだったと思とったですわ、米がないけえ、これ返礼品でようけ米が買ってもらえるかなと思ったら、出す米がない。これ、どがんことだらあかと思つて。というのは、多分、松原良明商店にその特裁米は一手に引き受けてもらっとるだらあという状況なんかを勘案すると、もっと方法を考えられないけんだないかと思うですわ。例えば担い手農家で米を販売するところに打診して、こういう状況で、米を返礼品で出してもらえん

かっちゅうような検討をされないけんと思うけど、それされとるですか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 米の確保ということで申し上げますと、議員おっしゃられたような確保のほうはまだできておりません。ただ、米が不足しているというようなことは、三朝町のみに限らずということもございます。先般、鳥取県のほうが、和牛であったり、二十世紀梨であったりというような部分の共通返礼品と申し上げてるものがございますが、それに米も含まれるというような、種類は限定されてましたけども、そういった形で対応するような施策も講じてらっしゃるといふこともありますので、町もできるだけ米がないということがないように取り組んでまいりたいと思います。以上でございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

2番、小椋議員。

○議員（2番 小椋 泰志君） 今のふるさと納税の寄附金の関係ですけれども、この説明資料を見ると、5年度については、件数については過去最高、そして、金額については、前年度と比較すると3,400万近く増加してるという、非常に成績としてはよかったのかなという具合に感じるんですけれども、この要因は、何ぼか説明はしてあるんですけれども、改めて、課長として、ぐっと増えた要因について、もうちょっと説明していただければと思います。

○議長（吉田 道明君） 藤井観光交流課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 小椋議員の御質問にお答えをさせていただきます。

まず、令和5年度の件数、それから金額につきましては、令和4年度と比較しまして、件数でいうと186%、それから金額で申し上げますと165%の増加でございました。これを分析というか、私なりに考えてみますと、まず、中間事業者という制度を年度途中からではございましたが取り入れたというのが非常に大きかったかという具合に思っております。

その次に、それに関連してになります、返礼品の数も増えました。令和4年度の末が148品目でしたけれども、令和5年度の末は236品目ということで、大体90品目ぐらい増えているということもでございます。ちなみに、この取組は進めるべき取組ということで考えておりますので、令和6年度8月末で申し上げますと、380品目ぐらいまで増えているところでございます。

返礼品もそうですが、事業者の数も令和4年度は34事業者でしたけれども、令和5年度末は46事業者まで、事業者数も増えたということが返礼品の数、それから事業者の数を増やしたことで、様々なニーズに対応できるような形になったのかなという具合に思っているところでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 小椋議員。

○議員（2番 小椋 泰志君） さっきの回答とちょっと重なってしまうかもしれませんが、今、6年度途中で、頑張ってやっておられるとは思いますが、先ほどの5年の要因を含めて、もう途中ですけれども、6年度に向けてさらにやっていかなければならないことがあれば、何点か上げていただければと思います。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 今の小椋議員の御質問にお答えをさせていただきます。

現在取り組んでいるという部分にもなりますが、まず、寄附する窓口をできる限り増やすという取組をしております。令和5年度の末が9、例えば楽天とか、ANAとか、いろいろなサイトがありますけれども、そういったサイトの数を増やすという取組をしております。令和6年度現在では、1つ増やして10になっております。それから、今年度中には11になる予定でございます。寄附する窓口を、間口を広げるという取組が必要かなということが一つです。

それから、先ほど遠藤議員からも御質問がありましたが、自動販売機の件がありました。自動販売機の件に、もっと輪をかけて、旅の途中で寄附をしていただける取組ができないかということで、旅館さんの窓口、フロントとかでできるような仕組みを、今、調整を旅館組合さんとしているところでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

5番、松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） それでは、ふるさと応援寄附金について、もう一つ、私のほうからもお聞きをいたします。ページは59ページ中ほど、それから、説明資料では209ページでございます。ふるさと応援寄附金一般経費が958万円ほどと、それから、ふるさと応援寄附金特別経費、2,994万7,000幾らということでございます。両方合わせると3,900万幾らで、ほぼ4,000万近いんですが、これに対して、費用対効果という面でどんな状況かというところをお伺いいたします。

○議長（吉田 道明君） 藤井観光交流課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 松原議員の御質問にお答えをさせていただきます。

まず、ふるさと納税のルールの部分になりますけれども、返礼品額の5割が例えば返礼品の送るお金だとか、事務費、そういった部分に見てもよいという具合にされております。ですので、令和6年度、8,600万何がしというような形での寄附金を頂いておりますので、その中でいうと、その半分以上で事務を行っているということがルールに沿った形のやり方でございます。

費用対効果ということで申し上げますと、効果としては寄附額が増えれば増えるほど費用対効果というのはあったのかなという具合に思いますが、その中で申し上げても、多くは返礼品であったり、手数料であったりということでございますので、効果というのはあったという言い方しかちょっとできませんけれども、どれぐらいあったかという、寄附額の4,000万以上ぐらいの半分の効果はあったということでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 半分、今、経費4,000万かけて、4,000万円の半分は手元に残っているというような状況かと思いますが、これについて、今後、手数料、今10項目ほど上がっております。それから、広告ですとかそういったもの、これも意図的に委託だとかそういったことで増やしているんだと思いますが、これについて、今後の考え方を聞いてもいいですかいな。考え方をちょっとお聞きしたい。

○議長（吉田 道明君） 決算だから、どげなかいな。簡単に答えれりゃあ。

藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 今後の考え方ということでございますが、先ほど小椋議員の御質問にもお答えをしましたが、寄附額の窓口を広げるということは、今、9なり、10なりという手数料の払い先も増えるということになります。それが増えることが悪いのかということではなくて、増えることで寄附額をさらに寄附していただけるように施策を講じてまいりたいという具合に考えております。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

8番、石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） 62ページ、総務費です。説明資料59ページです。社会保障・税番号制度関係のところのマイナンバーカード休日窓口対応時間外勤務手当というところですけど、これ、金額は国の10分の10ということなんで、それはいいんですけど、何日やられて、受付人数はどのぐらいあったのか、答えられますでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 山口町民課長。

○町民課長（山口 良輔君） 石田議員の御質問にお答えいたします。

休日窓口ではなくて、時間外ですが、令和5年度は水曜日に実施しておりました水曜日の延長窓口を年度途中からマイナンバーカードの手続で時間外を支払ったというのがございます。件数ですが、総トータルでは資料を持ち合わせておりませんけれども、1日当たり一、二件、多いときには三、四件というような受付、更新の手続等あったと認識しております。もちろんない日も

ございますが、数件はあったと認識しております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） これは国が全部出すわけなんですけど、日数の上限とか、手当の上限とか、あったんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 山口課長。

○町民課長（山口 良輔君） 御質問にお答えいたします。

日数の上限であるとか、金額の上限というのはないと認識しております。ただ、計画を出しますので、それで認められるかどうかというところの国庫の支出金になります。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

3番、河村議員。

○議員（3番 河村 明浩君） 53ページの上の段の下のほうで、過年度国・県支出金等返還金というところですけど、これの返還の理由とか内容についてお伺いいたします。

○議長（吉田 道明君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 河村議員の質問にお答えします。

過年度国・県支出金等返還金、新型コロナウイルス関係でございますが、令和4年度の実施計画に対しまして、令和5年度の繰越事業に対する不用額について、その金額を国庫への返還を行ったものでございます。区分としましては3つございますが、通常分、原油価格・物価高騰対策分、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金というようなことになっております。通常分として107万2,000円、原油価格・物価高騰対応分が452万3,000円、電気・ガス・食料品等価格高騰については387万2,000円ということで、トータルがその金額になっております。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、民生費、社会福祉総務費、66ページ上段から73ページ下段、災害救助費まで、質疑ありませんか。

9番、山口議員。

○議員（9番 山口 博君） 社会福祉総務費のことですけども、実は85ページの説明書のほう、資料のほうから見よったら、介護保険事業所物価高騰対策支援事業費が交付したというような148万9,000円で、決算額がゼロって書いてあったんで、あれっと思って、決算書のほう

を見たら、148万9,000円が載るとということで、これは単なる、監査委員として申し訳ない話でもありますけども、これは間違いでないかなと思って、確認します。

○議長（吉田 道明君） 岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山 裕和君） すみません、山口議員がおっしゃるとおり、物価高騰応援金として148万9,000円支出しておりますが、決算説明資料の決算額のところをゼロ円と誤って表記しているものであります。申し訳ございませんでした。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

○議員（9番 山口 博君） いいです。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

11番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 69ページのエネルギー・食料品等価格高騰支援給付金事業で、非課税世帯に3万円支給の分が705世帯、それから、7万円支給の分が727世帯、22件の差があるわけですけど、これ、どうしてでしょうか、ちょっと聞きたい。

○議長（吉田 道明君） 岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山 裕和君） ただいまの御質問ですが、まず、決算説明資料中段の臨時特別給付金が705世帯、下段の緊急支援給付金が727世帯ということで、世帯に差がありますのは、それぞれ支給をするための基準日を設けておまして、中段の臨時特別給付金に关しましては令和5年6月1日、緊急支援給付金に关しましては令和5年12月1日ということで、その間の6か月間で増減ありますが、結果として増えたというところになっております。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 支給を受けとらん方があるという解釈でいいですか。

○福祉課長（岩山 裕和君） もう一度、すみません。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 対象者でありながら支給を受けとらん方があるということですよね、いいですか。

○議長（吉田 道明君） 岩山課長。

○福祉課長（岩山 裕和君） 対象者である方で支給を受けていないって方は、通知を送って、送り返していただくんですが、辞退される方も中にはおられましたので、こちらのほうでこの人が対象になるとかならないとかっていうところは、基準に沿っては確実に通知させていただいております。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

次、そのほか。

8番、石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） 72ページ、民生費、避難所物資調達事業ですけど、今回、備蓄物資の補充ということで購入されてるんですけど、そもそもこれは何日分、何人分ぐらい保管されてるものなんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 竹本総務課参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 備蓄品の考えでございますが、鳥取県においては、震災対策アクションプランというプランに沿って、県と市町村で連携備蓄ということを行っております。その中で、県が想定する県内の避難者数は2万4,000人でございます。それを各市町村の人口比率で除したものが町が考える避難者数ということになっております。それでいきますと、大体三朝町は260人程度ということになってございます。今、御指摘ありました何日分等という考え方でございますが、いろいろ備蓄してるものがございますので、代表的なもので申し上げますと、例えば食料品に関して言うと、大体その260人が避難してきたとして、3日分程度は備蓄数量がございます。あと、水については、目標備蓄数量で大体1.5日でございます。どちらにしても、なかなか潤沢にあるというものでもございませんが、一気にそろえるということも問題がございます。危機管理局としましては、再三防災学習会等でも申し上げておりますが、各家庭での備蓄、備えをしていただいて、有事に備えていただきたいということで啓発のほうも行ってるところでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） これは、たしか一括して保管してあるんですよね。地域分散はされてなかったんですよね、どうでしたっけ。

○議長（吉田 道明君） 竹本参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 基本的には役場のほうで保管をしておりますが、物品によっては各地区公民館等で分散備蓄等をしている物品もございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、衛生費、保健衛生総務費、74ページ上段から79ページ中段、塵芥処理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、農林水産業費、農業委員会費、78ページ下段から87ページ中段、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

5番、松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 79ページ下のほうの農業委員一般活動費と、それから農業委員会委員等報酬のところ、説明書では161ページです。こちらのほうに農業委員会の活動の内容が説明をしてありますが、161ページから、非常に荒廃農地が目立つようになったと、増えているというような状況だと見ております。この委員会、委員さんと、それから農地利用最適化推進委員さんと2種類おられたと思うんですが、現状の活動状況、例えばパトロールしただけで、こんな状況だったというような状況で終わっているのではないかというふうに見えます。何らかの対策等の考え方っていうのを持って活動をしておられるんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 荒廃農地についての農業委員の関わりというか、活動についての御質問だと思います。農業委員さんの荒廃農地に関しては、農地パトロールで現状を把握をさせていただいております。それを受けまして、遊休農地、荒廃農地に当たるものについては、事務局のほうで利用意向調査というのを行って、どのようにされるかというのを確認しております。

農業委員さんの職務としては、その解消のために、じゃあ、やりないなっていう声かけをするということよりは、ふだんの現地に出かけていただいている中で、そういう状況が見られるときに、農家さんなりに声をかけていただくということかなと思っております。そのために、ふだんの農地パトロールのほかにも現地に出かけていってくださいねということでお願いをしているところでございます。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 実態は多分そういうことだろうと思いますが、これをもっと活発に、何ていうんですかね、意見を出していただくような方向にはならないんでしょうか。というのは、聞いたらいけんかいな。

○議長（吉田 道明君） 要望は控えるようにしていただけますか。質疑の。

松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 実態は分かりました。私は、ちょっとそういうところでしたが、この件については確認だけで、それでは、次回にしたいと思っております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 11番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 関連して。前もこの質問したですけれども、一向に改善が見られん。例えば地権者に通知をして改善を求めるといような答弁いただいたけど、一向に変わらなだけど、やっぱりさっき言われたように、農地パトロールしても何の効果もないのではないかといふふうに見受けるですけど、どうですか。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） 遠藤議員の質問にお答えします。

所有者の方に通知を出して把握をしているということは申し上げました。やはり所有者から返ってくるものとしては、誰か作る方がいないか、担い手機構というのもあります、そちらに出したいといような回答もあったりします。担い手機構、中間管理機構のほうに出すということになりますと、中間管理機構のほうも、要は、受けてくださる相手がないとという話になってしまつて、結局なかなか次に作ってくださる方がなくて、こういう現状に至つてののかなと思つております。まずは、所有者の方の責任もあると思いますが、そういった方を探すということで、担い手の方にもお声がけもしておりますが、担い手の方もなかなか今持っていらっしゃるところがいっぱいで、なかなかその解消ができていないところが課題であるかなといふふうと思つております。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 違つた問題で。81ページ、特産品振興事業、三朝米振興プロジェクトということで、今、コシヒカリときぬむすめ、10.9ヘクタールをされとるといふことですが、年間の収量はどのくらいなのか。さっき特裁米の話で観光交流課にも聞きましたけど、その関連でちょっと質問させてもらいたいと思います、収量。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 特選三朝米の令和5年度の収量ということでございます。コシヒカリときぬむすめを合わせまして51.6トンの生産量、数量でございます。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） これ、販路は松原良明商店に一手に依つていふ格好で間違いありませんか、ちょっと、確認。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） お答えします。

販路でございますが、令和3年度までは全てを松原さんのほうに出荷といふか、形で取り扱つていただいております。令和4年度からは、一部自分たちでも販売をしたいといふ方、その方個

人で販売も認めておまして、令和4年度からは一部生産者のほうで販売されるものもあるというようにしております。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 最終的に松原さんが扱っておられる量って何トンですか。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） 令和5年度、松原さんに出荷した量であります、42トンでございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

2番、小椋議員。

○議員（2番 小椋 泰志君） 84ページ、説明資料の156ページ、森林管理システム事業費についてです。説明資料の中身を見ると、未整備林の整備を進めていくために意向調査とか、集積計画の素案を作成したということで、エリアについて下西谷ほかとか、加谷の一部という書き方がしてあるんですけども、そもそもこの森林管理システムの事業費、6年度の予算にもこれ上がってますけれども、町として、いわゆる町全体をどういう契約で、何年契約でやろうとしているとか、そういったものをそもそも持っておられるのかどうか。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 森林管理システム事業費についてでございます。

こちらの未整備林という表現になっておりますが、いわゆる植えられて間伐とか手がかけられていないところ、そういった山を森林計画をつくって手入れをしていこうということで実施をしているものでございます。ここにありますとおり、まずは区画を決めて、その意向調査を行って、現地を確認をして、それに基づいて計画をつくって、施業の実施をするというような流れです。意向調査を行って、実施まで大体7年程度ぐらいはかかるかなと思っております。というのが、イメージですけども、意向調査を1年でやって、次の年で現地調査を行って、次の年で計画をつくって、その計画に基づく5年間で施業を行っていくというような考え方でやっておりますので、それぐらいの時間がかかると、1つの場所で。地区としては、中の谷の部分とか、竹田地内、加谷、大谷、福本等、それから、三朝、三徳地区のほう等で立ててやっております。

○議長（吉田 道明君） 小椋議員。

○議員（2番 小椋 泰志君） 分かりました。これは、財源としては森林環境譲与税とか、基金を活用して、事業主体は中部森林組合ということでいいんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） 財源は森林環境譲与税を利用して、実施は森林組合にお願いをしてやっております。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

5 番、松原議員。

○議員（5 番 松原 成利君） 81 ページ中段、中ほどです。水田農業サポート事業、予算説明資料では143 ページからですが、こちらのほうの運営対策費、それから機械整備、2種類もので上がっておりますが、これは第三セクター、グリーンサービスだけでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 議員の質問にお答えします。

議員がおっしゃるとおり、グリーンサービスの運営に係る費用ということで、この補助金を出しております。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5 番 松原 成利君） 機械整備についても、例えばほかの担い手さんですとか、そういったことからの要望とかはなく、この第三セクターさんだけだったということですか。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） お答えします。

担い手さんの機械の支援につきましては、決算説明資料でいいますと144 ページにありますが、担い手農家支援事業という形で、こちらのほうで毎年購入の必要なものを伺って、予算の範囲の中で支援をさせていただいているところです。

○議長（吉田 道明君） 5 番、松原議員。

○議員（5 番 松原 成利君） その下ですが、今度は、鳥獣被害防止総合対策事業（補助）と、それから、同じような項目ですが、単町ということで、説明資料では149 ページですが、こちらのほうの今現在の単価、それぞれ4種類ぐらいですかね、対象になるものがあると思うんですが、その単価について教えてください。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 御質問にお答えします。

捕獲奨励金の単価ということでございます。ここに説明書にも書いてあるとおり、国、県、そして町の3つの補助の財源でもって捕獲奨励金を合わせて出しております。その3つを合わせまして、組合せでもって、まず鹿ですが、成獣が2万2,000円、幼獣が1万6,000円、これを年間通して。それから、イノシシについてでございますが、成獣が1万2,000円、幼獣が8,0

00円という形で、こちらも年間を通じて、国、県、町の組合せで奨励金を出しておるところです。（「ヌートリアとアライグマの」と呼ぶ者あり）すみません、それから、アライグマとヌートリアというのがございまして、アライグマに対して1万円、ヌートリアに対して3,000円ということで奨励金を出しております。以上です。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

そのほか。

松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 87ページ中ほどです。林業管理費、説明資料では102ページです。こちらのほうに作業の委託の関係のことが書いてございますが、例えば委託先の優先順ですとか、考え方ですね、こういった考え方でこれを出しているのかということ、単価とか、そのほか条件ですね、そういったものを聞かせてください。

○議長（吉田 道明君） 藤井建設水道課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） 松原議員の質問にお答えします。

決算説明資料の草刈・側溝清掃委託に関してだと思えますけれども、よろしかったでしょうか。こちらにつきましては、基本的には、今までは三朝町シルバー人材センターさんをお願いをしてやっていただきました。ただ、令和5年につきましては、シルバー人材センターの人材が高齢化等人材不足ということで、一部三朝町グリーンサービスさんにもお願いをして、草刈り及び側溝清掃の委託をしてるところでございます。以上でございます。

○議長（吉田 道明君） 10番、藤井議員。

○議員（10番 藤井 克孝君） 87ページ、決算資料の上段のほうの未来につなぐ森づくり事業の事故繰越の120万円、これのちょっと詳細をお願いいたします。

○議長（吉田 道明君） 山本農林課長。

○農林課長（山本 達哉君） 未来につなぐ森づくり事業の事故繰越の内容についてということでしょうか。こちら、決算説明資料にも記載をしております。林業専用道の三朝大谷線の開設に伴う事業を実施したものでございます。

○議長（吉田 道明君） 藤井議員。

○議員（10番 藤井 克孝君） というのが、ここに括弧で事故繰越って書いてあるんですよ。この部分のちょっと説明をお願いします。

○議長（吉田 道明君） 山本課長。

○農林課長（山本 達哉君） 災害が起きまして、それで、年内の事業実施が難しいというところ

で繰越しをさせていただいたものだというふうに認識しております。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、商工費、商工総務費、86ページ下段から91ページ中段、公園等管理費まで、質疑ありませんか。

9番、山口議員。

○議員（9番 山口 博君） 89ページにあります観光費の中で温泉対策費っていうのがありまして、これは、温泉観測井の敷地料でございますが、これはずっと長年払ってるわけですけども、この観測井の必要性、それから、観測井で観測したデータはどのようなことがデータ取られて、どのようにそのデータが生かされてるのか、その辺を聞きたいと思います。

○議長（吉田 道明君） しばらく休憩いたします。

午前10時45分休憩

午前10時51分再開

○議長（吉田 道明君） 藤井観光交流課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 山口議員の御質問にお答えをさせていただきます。

温泉観測の井戸の部分でございますが、具体的に申し上げますと、山田地内に2か所ございます。これ自体は、定量的にずっと観測をするというものではございませんで、必要に応じて観測をさせていただくという形で、敷地料をうちのほうがお支払いをさせていただいてるというものでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 山口議員。

○議員（9番 山口 博君） いわゆる観測の目的っていうのは、どのようなデータ取ってるのか、その辺はわかりますか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 町が観測をするというのではなくて、県が必要に応じて観測をするというものの井戸でございますので、県が必要に応じて観測をされるというものでございます。

○議長（吉田 道明君） 山口議員。

○議員（9番 山口 博君） じゃあ、データなどは町のほうに提供はいただいている、いただい

てはいるかいなのか、その辺はどうですか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 観測されたということが生じた場合は、こちらのほうも連携を図っておりますので、データはいただけるとっております。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

11番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 89ページの観光客誘致対策推進費と、それから外国人観光客誘致対策事業、外国人観光客誘致対策事業（繰越）、2つあるわけですけど、3つか、項目あるわけですけども、これ、今年、データによると、26万人、昨年三朝町、三朝温泉に泊まられるようですけども、昔は35万人から30万人に減ったっちゃう状況だったのに、これまた4万人ぐらい減るとるわけですね。これ、費用を投じた割に、費用対効果ってどのくらい見ておられるですか。

○議長（吉田 道明君） 藤井観光交流課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） すみません、3つ、観光客誘致と……（「外国人のが2つ」と呼ぶ者あり）外国人の分が2つですね。ちょっとお待ちください。

遠藤議員の御質問にお答えをさせていただきます。

まず、観光客の誘致という部分で、幾つか事業を分けて実施をしておるところでございます。観光客誘致、それから外国人の観光客の誘致というような形でございます。それぞれがそれぞれの目的で外国人の誘致であったり、国内の観光客の方を中心としたという形で施策を行っておりますが、コロナの前と後を比較しますと、議員おっしゃられたように、コロナ前までにはまだ回復をしていないというような状況でございます。

その中で、回復するための取組ということで、この予算を使いながら実施をさせていただいております。具体的に、観光客誘致の対策費としましては、観光協会等と連携を図りながら、決算説明資料でも書かせていただいておりますが、様々な県外でのPR活動をさせていただきました。それがどれだけの費用対効果があったかというようなことっていうのは、数値としてどれぐらいもうけた、利益があったっていうのはなかなか言いにくい部分はございますが、継続してやっていくこと自体が観光としては重要だという具合に認識をしておりますので、引き続きながら観光客の誘致、それから外国人の観光客についての誘致を進めてまいりたいという具合に思います。以上です。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 事あるごとにですね、観光客誘致っっちゃう事業は載るわけですが、ずっと何回されても伸びんっちゃうのは何が問題なんですか。PRがとろいとかなんとか、事業をこなしても成果が上がらんと意味がないじゃないですか。事あるごとに誘致誘致って出るわけだけど。

外国人の誘致の件、載っとるわけだけど、これによってどのぐらいの外国人が三朝温泉を訪れとるですか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 外国人観光客の誘致でございます。令和5年は、外国人が7,400人程度お越しになりました。コロナ前で申し上げますと、2万人程度まで来られました。令和6年度につきましては、6月までの中で約7,000人来ておりますので、回復をするということについては、回復をしつつあるというような状況下でございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 町民の方は、温泉だけ守れば三朝町はええかっていうような声まで聞こえとる。こういう事業をずっと続けておられると、やっぱりある程度、区切りをつけてされんと問題にならへんかと思うけど、どうですか、この辺の考えは。ごっついのをばんと打って、継続することに意義があるという考えなのか、大きな予算をつけて一発でばんとする、イメージを与えるという考え方、どっちがええですか。毎年されるのがええですか。だけど、町民の批判はすごいと思いますよ。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 観光客の誘致は継続して行うべきだと私は思います。でないと、来年、次の年、次の年というような形でお客様がお見えになるということの施策は講じないというわけではないですけど、弱めることのデメリットは非常に大きいと思います。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか質疑ありませんか。

松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 89ページ下のほうですが、令和5年台風7号に係る三朝温泉誘客促進事業、それに関連しますが、次の91ページの上のほうです、三朝温泉誘客促進事業ということについてですが、まず、89ページのほう、説明資料では226ページですが、クーポンを2,829組配布をしたということになっております。これは、どういった方法で配布をされたものなんでしょうか。それで、効果はやはりリピート客とかにつながるものが望ましいわけですが、どういった効果を期待されてのものだったんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 令和5年台風7号に係る三朝温泉誘客促進事業というところでございます。この事業につきましては、名前のとおり、台風7号に係る風評被害を払拭するという部分で、県と連携を取りまして、先着3,000組の宿泊者へ町内で利用できるクーポンを来られたときにお渡しをするというような形で配布をしたものでございます。3,000組と今申し上げましたけれども、組と申し上げると、1人の場合もありますけれども、2人ぐらいと想定をさせていただくと、2,829組が2人ずつお越しになられたと仮定した場合には、5,658人ということでございます。一般的に、宿泊単価が例えば2万円と想定をさせていただくと、その効果によっては、1億1,000万程度の宿泊がこの風評被害を払拭するという短期間の中で効果があったというような形で考えておるところでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） ということは、例えば来られたときにお渡ししたということは、これは全部宿泊された旅館の中で使われてしまったと、値引きみたいなことに当たってしまったというふうなことになるかと思うんですが、そういう理解は正しいでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） その考えではございません。事業所数ということで、決算説明資料には書かせていただいておりますが、現在旅館は22軒ございます。協力店舗ということで48事業所という具合に書かせていただいております。お越しになられた方が、温泉街等でも御利用できるというような形の取組をさせていただいたところでございます。以上です。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） どこで使われたというようなデータっていうのは、数字までは結構ですが、旅館以外で、何ていうんですかね、観光のために使われたということは把握できているということだったでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○観光交流課長（藤井 紀好君） 把握できております。

○議員（5番 松原 成利君） よろしいです。

○議長（吉田 道明君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、土木費、土木総務費、90ページ下段から95ページ下段、住宅管理費まで、質疑あり

ませんか。

11番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 94ページからの住宅維持補修費、これ、徳本団地が上がるとるわけですが、徳本団地は築何年になるわけですか、今。

○議長（吉田 道明君） 藤井建設水道課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） ただいまの質問は徳本団地の築経過年数だということなんですけれども、徳本団地は昭和51年から平成元年までに3回に分けて建てられております。そうしますので……。すみません、ちょっとお待ちください。大体36年から……。大体48年、50年弱が経過しております。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員、11番。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） ここに修繕費等で上がるとるわけですが、もう大分古いように見かけるわけですが、建て替えっっちゃう考えはなしに、ずっと、これ、修繕ですっと続けられる考えなんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） 町営住宅につきましては、徳本団地につきましては、平家も含めて、住宅長寿命化計画というものをつくっております、改修、それと断熱を併せながら、もう少し、約20年ぐらいは使っていこう。徳本団地が終わりましたら、今度は恋谷団地の1棟について、引き続き長寿命化と大規模改修をしていこうというふうに考えているところであります。

全体の町営住宅につきましては、徳本団地の1戸につきましては、廃止して取り壊しておりますし、今後になりますけれども、恋谷団地、今3棟あるんですが、そのうちの2棟は取り壊すというような方向で検討をしているところでございます。

議員のおっしゃるとおり、新しいのに建て替えるというような御質問なんですけれども、先ほど申し上げましたように、現在ある施設を長寿命化対策をしながら、あと20年程度は使用していこうというふうに考えて、現在進めているところでございます。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 最後やんな。

○議長（吉田 道明君） はい。

遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 入退去に伴う修繕っっちゃうことで546万円ぐらい上がるとるわけですが、これ、例えば、古うなるとるために新しく入居者のためには修繕しなきゃいけないということだと思うんですけども、何年入るか分からんですけども、入られるたびに、入れ替わるた

んびに修繕っちゅうのが伴うわけでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 藤井課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） 大規模な改修につきましては、先ほどの長寿命化計画の中で対応していますけれども、去年は徳本団地で2件の入居がありました。こちらにつきましては、退去した方の住居年数が長いために、その間の修繕が、大きな修繕を行われていませんでしたので、その部分について少し高額な費用での改修ということを実施しております。その改修した部分につきましては、ただいま申し上げました長寿命化に対する大規模改修については、費用が抑えられているというような現状がございます。以上でございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、常備消防費、96ページ上段から99ページ中段、原子力防災対策費まで、質疑ありませんか。

7番、能見議員。

○議員（7番 能見 貞明君） 97ページ、防災基盤整備事業（消防施設）、1,320万ほどですけれども、大きな金額です。それは、説明資料によりますと、39ページですか、今泉の消火栓2基新設工事、集落要望に基づき、2基設置したということを出ております。これ、この前の総務常任委員会のときに、部落要望が遅れて出たということの説明があったということですが、これ、本当に出ております。ていいますのは、これ、ここに私持つとるんですけども、班の区長会があります。そのときに部落要望やりますね。それで、4年度から5年度、6年度って持つとるんですけども、4年度は当然出ておりません。5年度も出ておりません。用水路です。4年度に遅れて出てきたら、5年度に載らんといけんじゃないですか。

それでね、これ、それで、見たら6年度に出とるんですね。今年の4月の区長の文書で出とるんですね。これ、そしたら、そんなの町の答えが5年度に設置済みって出とるですわ。これ、どういことですか。何か合わんですけど。

ほいで、もしも4年度に本当で遅れて出たっていうのは、締切りを過ぎて出たっちゅうことですね。そういうことですね。そしたら、そんなの、文書っちゅうのは開示できますか、今、ここで。

○議長（吉田 道明君） 竹本総務課参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 今のお答えですが、令和5年の3月20日付で、今泉区より要望

書が出ております。ですので、時系列で申し上げますと、先ほど言った区長会等でお配りする集落要望には載らないということで、令和6年度で出てたという部分については、確かに5年度に実施をしたので、そのような記載になっているということでございます。

○議員（7番 能見 貞明君） もう一度。令和4年の3月。

○総務課参事（竹本 将樹君） 令和5年の3月20日に、今泉区から要望書が出ております。

○議長（吉田 道明君） 能見議員。

○議員（7番 能見 貞明君） それだったら何で。3月ですから4月の区長会には載らなんだったんですよ。

○議長（吉田 道明君） 竹本参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） はい、そのようになります。

○議長（吉田 道明君） 能見議員。

○議員（7番 能見 貞明君） 何で、締切りが済んじゃって、3回目だね。（「2回目」と呼ぶ者あり）えっ、2回目かいな。締切りが済んじゃって、何でそれを受け付けたのかちゅうのも分からんですし、ということは、各村の人、今何ぼ、五十何集落ですか、の人が総会開いたり、役員会開いたりして、一生懸命期限を守って出してきたのに、何で4月ちゅうなの受けただですか。3月か、おかしいじゃないですか。それを5年度にもう実施しちゃってるんですよ、補正予算組んで。これ、どういうことですか。1,300万。

○議長（吉田 道明君） 竹本参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 今言われた御質問の内容は、集落要望等が出てないのに、なぜ実施をしているのかという御質問なのかなというふうに思いますけれども、要望としては、確かに先ほど申し上げた日付で出ております。その後、消防団も協議を行って、当該設置場所に消火栓を設置することが必要であるというふうに判断をしました。その後、所要の準備も整ったということで、令和5年度の補正予算で事業実施をしたということになります。

○議員（7番 能見 貞明君） 判断したって……。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

○議員（7番 能見 貞明君） まあ、もう3回だけん、仕方ないです。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

3番、河村議員。

○議員（3番 河村 明浩君） 先ほどのこの防災基盤整備事業の消防施設でございますけれど、この決算説明資料の39ページ、集落要望に基づきというようなことで表現されておりますけれ

ど、あんまり、集落要望があればできるというようなことでちょっと判断されやすいので、もっと明らかに、家が建ってそういう必要になった、消防水利が必要になったというようなことだと思いますけれど、そういう表現に変えたほうがいいのと思いますし、この事業の1,327万400円ですけど、これについての財源についてはどのようになっておりますか。交付金とか辺地債とかですね、そういうのを教えてください。

○議長（吉田 道明君） 竹本総務課参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 財源については、一般財源を使っております。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

○議員（3番 河村 明浩君） はい、いいです。

○議長（吉田 道明君） 次。

4番、吉村議員。

○議員（4番 吉村美穂子君） 同じところですよ。決算資料は97ページで、説明資料が39ページなんですけども、これ、1,327万ということなんですけども、消火栓1基が大体100万から200万って、私、ぐらいいかなと思うんです。あとの1,000万ぐらいっていうのはどういふふうに使われたんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 竹本総務課参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） このたび費用が高額になった理由でございますが、度々の説明になります、集落から設置要望の出ました場所に消火栓を布設することに伴い、現地を確認したところ、水道の本管が径が途中で細くなっております。もともと住宅が少なかったということもあって、水道の本管が小さいものが布設されていたということもあろうかと思いますが、そもそも消火栓の設置につきましては、消防庁が定める消防水利の基準に伴って、規定の管以上で引き込みなさいというふうな決めがございます。それに伴って、結局、管が細くなっているところから消火栓のところまで、水道の本管を消火栓の設置に伴ってやり替えたということで、費用が高額になってございます。

○議長（吉田 道明君） 吉村議員。

○議員（4番 吉村美穂子君） これ、消防法によると、水道事業によって消火栓設置っていうふうになっていないんですか。

○議長（吉田 道明君） 竹本総務課参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 水道法ではそのように規定はされておりますが、同じく、同条第2項については、市町村は、消火栓を設置した水道事業者に対し、その消火栓の設置及び管理に

要する等につき、水道事業者との協議により相当額の補償をしなければならないと規定をされているため、それに基づいて一般会計で支出をしたものでございます。

○議長（吉田 道明君） 4番、吉村議員。

○議員（4番 吉村美穂子君） 消火栓設置というのは大体当初予算であるんであって、補正予算をしなければいけない緊急性というか、それは何だったんでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 竹本参事。

○総務課参事（竹本 将樹君） 繰り返しの答弁になりますけれども、集落のほうより要望が出ました。消防団とも協議をした上で、その場所に消火栓を設置することが必要であるという判断をした上で、所要の準備ですね、地権者の承諾等であるとか関係課のほうで精査を行った結果、事業実施をするのが適当だという判断が下されたので、事業実施をしたものでございます。

○議長（吉田 道明君） 11番、遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 所管ですけども、今の質問に対して私も質問させてもらう。

私、参事に質問したときには全然こういう答弁はありませんでした。私が質問してから考えたか知りませんが、何の返答もなかった。それで、今日、町長に聞こうと思って準備しときましたんで、ちょっと聞きます。

まず初めに、水道管理者っていうか、建設水道課の課長に聞きました。水道の本管っっちゃうのは、例えば住宅ができるとか家がいっぱい建ったよ、ことがない限り、水道管の延長はしないということだそうでございます。

ほいで、今、話題になっておる今泉の消火栓、1か所はとんがりハウスの前の消火栓、それからもう1か所は179号線、今泉バス停から上に上がった墓の前に立っております。それで、これ、緊急性があったのか。私たち、今見てきましたけど、ここに緊急性があって、補正予算まで使って、一般財源を、することが必要なのか。町長の集落で忖度してこれができたのかっていう、ごっつい疑問がある。町民もごっつい不審に思っておられる。ましてや、一般財源を使って水道管の新設、消火栓のために新設っていうのは、あり得ん。水道法違反ですよ、これ。ほいで、普通、消火栓っっちゃうのは、本管が通るところに、そこから引き出してつけるのが普通。何で、これ、特例でこういうことされたか。それも、集落要望を締め切ってから、3月って言われたけど、3月閉まってから6月でもそれ出っですか、これが。町長の集落は特例ですか。まずこれ聞きますわ。なら、町長に聞くわい。

○議長（吉田 道明君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 何で私に振るかよく分かりませんが、今、担当課長が答弁してたとお

りだというふうに思ってますし、委員会のおきにすぐ答弁できないのは、急に言われるものですから、そりゃ準備ができてないから調べる時間がかかりますし、そもそも何で私のところで消火栓つけて問題があるかっちゃうのが疑問だし、別に法律を破ってやっ取るわけではないし、みんながよく調べて、要望を受けてから検討して回答したというふうに思っておりますので、特段問題はないと思います。

○議長（吉田 道明君） 遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） これね、町長、そがなこと言ったって通りませんよ。これ、消火栓が目的じゃなくて、水道管布設のほうが目的で消火栓に替えたっちゃうことは分かっとったですよ。それで、これは町長が補正で組まえてっていう話が出て、危機管理局長が水道建設課に言っかって試算してもらったその金額がこれで、財政課長もこれ許可しとるわけだけん、3人、ここでおかしいと思わないのか聞きたいですわ。ほいで、町長が言われるけども、町長が補正組めって言われたっていうこと聞いとるですよ、職員から、聞いたもんがおる。そがに、分からんかと思っとうそつかったっていけんわいな。第一、消火栓事業が目的でない。だけん、緊急を要するわけじゃない、墓の前ですよ。誰が言うてここが緊急って思うですか。もし本管がなかったら消火栓のほうに向かうべきじゃないですか。担当課長と町長の答弁、もう一遍お願いします。

○議長（吉田 道明君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） まあ、消火栓は、さっき課長が言ったように、住宅ができたっていう必要性があって、そういうふうにしたと思いますし、そもそも集落要望なんで当初に言われますけど、これに限らず、町は、定期的な要望でなくても、その都度要望が出てきたことに関しては、相談を受けて補正でも対応してきとるんで、そのことに関してはこれが特別だという言い方はおかしいと思いますし、迅速に対応していくっちゃうのが今の私たちの方針ですので、そういうことは御理解いただきたいと思います。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） なら、水道課長と財政課長の答弁聞く。

おかしいと思われんだかっつうことだ。

○議長（吉田 道明君） 藤井水道課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） 水道事業としましては、危機管理局から令和5年の3月に、工事に係る積算をしていただきたいということで文書を頂き、その額を一度令和5年4月に危機管理局のほうに返しております。つけるつけないの判断は、私どものところでは行っていませんので、その経過等については承知してないということでございます。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 財政課長。

○議長（吉田 道明君） 吉田財政課長。

○財政課長（吉田 栄治君） 補正の査定につきましては、担当課から理由を聞きまして、その理由相当、いろいろ質問等もしますが、適正だと判断しておりまして、あとは執行部で適正かどうかという査定をさせていただいて、その後に補正予算として上程しております。以上でございます。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 最後だな。

○議長（吉田 道明君） はい。

遠藤議員。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） なら、一般会計でついた水道管、これは町財産になるわけですね。

それで、そこから出された水道管、1軒の家は水道が引けえで困って、そこから引かれとるようですけども、そんな水道料金っちゃうのはどういうことになるですか。

ほいで、今言われとるけども、消火栓を造るのを目的でなしに、1戸の水道管が引けんために苦肉の策で消火栓つけられたってというような話でみんな伺っとるだけど、おかしいじゃないですか、言われること自体は。だけん、みんな聞いとるだけんな、うそをつきなんな、ちゃんと聞いとるだで、みんな、皆さんに話を。（発言する者あり）

○議長（吉田 道明君） 水道課長、答弁。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 町長に聞かないけん、財産のことになるから。

○議長（吉田 道明君） 町長か。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） 町財産になるだろ、どうせ。一般会計で造った水道管だけん、町財産だろ。水道関係の財産じゃないだら。

○議長（吉田 道明君） 水道課長のほうがよく分かるじゃないか。

○議員（11番 遠藤勝太郎君） まあ、どっちでもいい、聞いてみて。

○議長（吉田 道明君） 建設水道課長、だから財産の話か、水道管の。

藤井課長。

○建設水道課長（藤井 和正君） 今、一般財源として造った水道管についての財産の質問だと思っています。

本来であれば、水道管の本管というものは水道事業会計のほうが造り、水道事業会計の財産としてするものでございます。先ほども危機管理局長等申し上げましたが、各法律では、水道事業管理者が消火栓等をつけたときに、一般の水道利用者の料金に反映することは本来の目的ではないため、一般財源がその費用を負担するというものが法律の趣旨だと私は思っています。

例えばですが、住宅地の開発等が行われる場合、開発事業者が下水道とか水道、また消火栓も整備をし、整備する前には水道事業管理者に水道の基準の確認の申請等があります。下水の場合は、下水道を管理してる担当課にその構造等について協議があり、その管理している水道事業管理者等が指定する構造のものを造っていただき、費用はその宅地開発の事業者が行います。水道、下水等の施設が完了した後は、施設の検査を各担当、水道事業者が行った後に、水道開発事業者から、その部分についてはそれぞれの担当に寄附がされるというような形がございます。

今回の場合、一般財源で施設を整備したその財産を、水道事業への財産の移行が今現在はまだ行われていません。その部分については、手続が遅れていることに対しては申し訳ないというふうに考えておりますが、先ほど申し上げましたように、消火設備等については、基本的には水道事業管理者が水道利用者の負担にならないために一般財源で行っていますので、今の流れとしては、一般財源で造ったものを最終的には水道事業管理者に水道施設として管理をするために、また、その財産として今後管理していくために、手続が必要であったかというふうに今現在は思っているところでございます。（「水道料は」と呼ぶ者あり）

水道料につきましては、通常の上水区域の水道料金を頂いている状況でございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、教育費、教育委員会費、98ページ中段から111ページ中段、学校給食費まで、質疑ありませんか。

8番、石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） 102ページ、教育費、中学校費の中の不登校対策支援員配置事業です。説明資料では、不登校傾向の生徒に対する登校促進支援及び担任のフォローと書いてあります。登校支援というのは、家庭から学校までの話なのか、学校内の担任のフォローということかちょっとはっきり分からないんですけど、どのような業務をされてるのか教えてください。

○議長（吉田 道明君） 角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 石田議員の御質問にお答えをします。

不登校対策支援員の配置事業につきましては、不登校傾向の生徒に対応するために配置をしております。業務内容については、もちろん担当教員のフォローもございまして、その生徒に対しての声かけ、自宅への訪問をして、その児童の生徒の様子を見るといったようなことを業務としてやっております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） そうすると、担任の先生が家庭生活とか、そういうところに関与できないから、そういう支援員が関与していくと。それによって不登校をなくしていくという役割でよろしいでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 角田課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） お見込みのとおりでございます。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

4番、吉村議員。

○議員（4番 吉村美穂子君） 決算書は111ページ、説明資料が258ページ。説明資料の中ほどの給食配送業務委託料、256万って出てるんですけども、小学校が統合されて、この256万の配送料というのは、どのような計算の上でこのような数字になってるのか教えてください。

○議長（吉田 道明君） しばらく休憩します。再開を11時40分とします。

午前11時30分休憩

.....

午前11時38分再開

○議長（吉田 道明君） 再開いたします。

それでは、角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 吉村議員の御質問にお答えをします。

調理センターの給食配送業務の委託料の積算でございますが、学校稼業日を200日と想定しまして、配送要員を2名掛ける3.5時間の積算でこの委託料が算出されております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 4番、吉村議員。

○議員（4番 吉村美穂子君） これ、配送はゴロゴロで行くとすれば、これ、2人も要りますかね。

○議長（吉田 道明君） 角田課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 令和5年度につきましては、現在の三朝小学校の校舎に横づけをして、そこからワゴン車を出すという作業になるんですけども、いわゆる車両のトラックの荷台からそのワゴン車を出すに当たり、一度ワゴン車を回さなきゃいけないということもありましたので、2名の体制で昨年度は実施をしております。

○議長（吉田 道明君） 吉村議員。

○議員（４番 吉村美穂子君） これは、委託はグリーンサービスにしておられるってことをお聞きしてるんですけど、いいですよ、となると……。 （発言する者あり） ああ、３つしか言えらんもんな。 （発言する者あり） いや、３つしか質問できんなと思って、今……。

グリーンサービスに委託しておられるっていうことなんですけれども、これ、２名、３．５時間、この時間給というか、の算出どんなふうになってますか。

○議長（吉田 道明君） 角田課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 拘束時間については、給食が出来上がって配送の始まるの時間から、食器回収の時間までの３．５時間で想定をしております。 （発言する者あり）

○議長（吉田 道明君） あれ、３回済んだ。

○議員（４番 吉村美穂子君） もう３回済んじゃった。 （発言する者あり） すみません。

○議長（吉田 道明君） 質疑、そのほかありませんか。

６番、松原議員。

○議員（６番 松原 茂隆君） 説明資料でいいますと２４２ページ、決算のほうでいうと１０１ページの一番上、いじめ・不登校、それから不登校の支援事業についてお聞きしますが、まず、説明資料では、いじめ・不登校で２段に書いてあるわけですけど、いじめ問題の調査委員会報酬と、これはまあいいです。その下に不登校の補助金で書いてあるわけですが、これ、３名分。

まず、いじめはなかったのか、令和５年。１件もないのかっていう質問です。もしあれば、ここに書いてあるわけですけど、それを把握して、そのいじめに対してどういう対応していくか、そこんところをまず聞きたい。

○議長（吉田 道明君） 角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） いじめ・不登校対策事業についての御質問で、昨年度のいじめの認知につきましては、小学校が２３件、中学校が３３件の認知をしております。このうち、大きいものから小さいものまでございます。小さいものについては学校のほうでも対応しますし、教育委員会のほうでも対応します。重大事案につきましては、教育委員会のほうに通告がありますので、いじめ調査委員会を設置をして、その対応について検討しているところでございます。

○議員（６番 松原 茂隆君） だから、その検討がどういう検討……（「手挙げて」「指名を受けて」と呼ぶ者あり） ごめんごめん。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（６番 松原 茂隆君） さっきの続きだと思っておっただけど。

調査委員会で大きい事案については検討するっていうのは分かるで。その後の処置の仕方っていうか、対応の仕方、そこが知りたい。教育長でもいいです。

○議長（吉田 道明君） 角田課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 発生事案の対応についてでございますが、対象児童生徒についてもそうですし、全校生徒についてもそうなんですが、いじめ予防の研修ですとか、そういったものを学校のほうでもやっております。

○議員（6番 松原 茂隆君） 僕、一応3回目なんで。（発言する者あり）まあまあ、まあいい。もう一つ。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（6番 松原 茂隆君） ちょっと私の説明が悪かったんで、あれかも分かんんですけど、不登校になったということで3名分ということで決算が載るとるわけですが、その説明を見ると、不登校の児童生徒を指導する学校以外の施設に通う場合と。学校以外の施設っていうのはどこの施設にあるんですか。どこにあって、どういう施設、まあまあ、指導するっていうのは分かるんですけど。

○議長（吉田 道明君） 角田課長。

○教育総務課長（角田 正紀君） 不登校児童生徒支援事業補助金についての御質問でございます。学校以外の施設につきましては、北栄町にございますフリースクール・Sに通われる児童生徒の方の施設利用料について助成をしているものでございます。フリースクール・Sも不登校生徒が通う施設でありまして、学校と同じような教育ですとかスポーツ活動、そういったものを行う施設でございます。

○議員（6番 松原 茂隆君） はい、いいです。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

8番、石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） 106ページ、教育費の中、社会教育費ですね。説明資料279ページの町制70周年記念文化財冊子作成事業というのがあります。これは三徳山について三朝温泉との関係とか書いた冊子ですけど、私も買って読ませていただきましたけど、大変勉強になりました。

それで、800冊作られたということですけど、これは完売したのでしょうか。どうでしょう。

○議長（吉田 道明君） 谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川 篤志君） 三徳山の冊子の販売状況の質問だったかと思います。現在、販

売が496冊売れております。そして、謹呈、お送りしたものが60冊ございまして、在庫、残っている数としては244冊となっております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） せっかく、今、日本遺産の再認定の最中であり、こういうものをPRするために、それこそ商店さんとか旅館さんのフロントに置いて、観光客の目につくところに置いて販売するということ、そういう考えはないでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 要望的質問は控える……。

○議員（8番 石田 恭二君） ああ、そうか。はい、そうですね。

○議長（吉田 道明君） 谷川課長。

○社会教育課長（谷川 篤志君） 販売に関しての御質問であったかと思えます。販売としましては、今井書店と、あと三朝町役場、そして観光協会でも取り扱っております。また、アマゾン、今井書店のオンラインストアでも販売しておりますので、地元への間口というのもまた少し考えてみたいと思えます。以上です。

○議員（8番 石田 恭二君） いいです。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

○議員（8番 石田 恭二君） 別で。

○議長（吉田 道明君） 石田議員。

○議員（8番 石田 恭二君） すんません。106ページの、説明資料281ページ、図書館の一般管理費です。4年度に比べて図書の貸出しが少なくなってます、全体的に少なくなってる。その代わり、開館日数も入館者数も増えてるんですけど、この状態をどのように分析されてるのでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 毛利図書館長。

○図書館長（毛利 純君） 石田議員の御質問にお答えします。

入館者数が増えたことにつきましては、令和5年度、町民の方が日頃いろいろ作品を作っておられます、写真とかも撮ったりされているものを図書館の中で展示をさせていただいたものの月が入館者数が増えているようですし、あと、冬に地域協議会で実施されましたインスタグラムのフォトコンテストの応募された写真を図書館内で展示させていただきましたが、こちらの月も入館者数が前年度に対して増えておりましたので、町民の方の作品展示がされる場合に、やはり入館者数の方が多くなってるかなってというような状況は見受けられました。

ただ、貸出冊数が減っているということにつきましては、夏休みの期間、7月、8月の期間が

前年度に対しまして貸出冊数が減ってましたし、こちらは入館者数も4年度に対して減っているようでしたので、皆さんの行動が、コロナから明けて、旅行やレジャーのほうに向いたのではないかなっていうところが見受けられました。

あと、三朝西の学童クラブの児童に対して旧寄宿舎で場所を実施していたときは、月に2回、移動図書館車で貸出しを行っておりましたが、児童クラブの場所が今の三朝小学校の多目的室に移動したときに、同じ部屋に学校図書館がある関係で、児童クラブの子供たちに対しての貸出しは行わないようにさせていただきましたので、移動図書館車で児童に対する貸出しがぐんと減ったというところが大きく影響していると考えております。

○議長（吉田 道明君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、災害復旧費、農林水産施設災害復旧費、110ページ中段から113ページ中段、現年発生その他公共施設・公用施設災害復旧費まで、質疑ありませんか。

5番、松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 111ページについて、補助災害復旧事業全般についてお伺いをいたします。説明資料では126ページからでございますが、令和5年7号台風ですね、それより前に令和3年頃にも大雨による災害等が起こっておりまして、工事が非常に次々と復旧工事が必要になったかと思いますが、現時点で復旧状況全般にですね、ざっくりで結構ですので、どういった状況にあるかを教えてください。

○議長（吉田 道明君） 松村建設水道課参事。

○建設水道課参事（松村 倫明君） 松原議員の御質問にお答えいたします。災害復旧状況の御質問かと思えます。

まず初めに、令和3年災についてでございますが、こちらのほうは全て復旧は完了しております。

令和5年災につきましてでございます。今現在、入札手続中のものも含んだ発注状況を回答いたします。まず、道路災害としましては、19か所中16か所を発注しました。河川災害につきましては、7か所中6か所を発注いたしました。公園につきましては、1か所中1か所。農地につきましては、47か所中22か所を発注しております。農業用施設につきましては、46か所中29か所を発注しております。最後になりますが、林道災害でございます。こちらは、16路線35か所中6路線11か所を発注しております。以上でございます。

○議員（5番 松原 成利君） よろしいです。

○議長（吉田 道明君） いいですか。

○議員（5番 松原 成利君） はい。

○議長（吉田 道明君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑をなしと認め、進行いたします。

次に、公債費、112ページ下段から117ページ、予備費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

その他全般について、質疑ありませんか。

松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） その他全般ということでちょっとお伺いしたのは、電算処理ということで手数料っていうのが毎年どんどん増加しているようなふうに私には見えております。実態の把握と一元管理を行う必要があるのではないかとと思いますが、財政課長のあたりでしょうか、この辺をまとめたりとか、そういったことで、どなたかが何らかの対応を取るべきではないかと考えるんですが、いかがでしょうか。

○議長（吉田 道明君） 米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田 真君） 松原議員の質問にお答えいたします。

電算処理システムの経費についてでございますが、まとまったものをということで、三朝町の基幹業務につきましては、主に鳥取県情報センター、それから岡山情報公社に委託しているものになります。導入経費等については国の補助などが入りますので、比較するとすれば経常経費に関してだと思います。

それでいきますと、過去5年ですけども、令和元年度でいきますと大体約4,000万円程度で、昨今、令和5年度になりますと4,700万円程度ということで、確かにおっしゃられるとおり、700万円程度上がっておるといふ集計はさせてもらっております。それぞれ機能の追加ですとかバージョンアップの対応等ありまして、パッケージの追加等もございますので、利用料が増えたものと分析しております。以上です。

○議長（吉田 道明君） 松原議員。

○議員（5番 松原 成利君） 回答がきちんとできましたので、私のほうも安心をして、しっかりと見守っていただきたいと思います。以上です。

○議長（吉田 道明君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で、議案第 5 3 号、令和 5 年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定に対する質疑を終結いたします。

ちょっとここで皆さんにお伺いいたしますが、このまま、12時になりますが、進行しようと思いますが、異議がございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） それでは、このまま進行します。

議案第 5 4 号、令和 5 年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 5 号、令和 5 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 6 号、令和 5 年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 7 号、令和 5 年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 8 号、令和 5 年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 5 9 号、令和 5 年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質

疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第60号、令和5年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第61号、令和5年度三朝町水道事業会計決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第62号、三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第63号、三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第64号、三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第65号、三朝町国民健康保険条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第66号、三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正等について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第67号、鳥取県後期高齢者医療広域連合規約を変更する協議について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第68号、損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で、議案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております21件の議案のうち、議案第53号、令和5年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 御異議なしと認めます。よって、議案第53号、令和5年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。総務教育常任委員会から遠藤勝太郎議員、松原成利議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、吉村美穂子議員、副議長、藤井克孝議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名しました5名の諸君を、特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から遠藤勝太郎議員、松原成利議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、吉村美穂子議員、副議長、藤井克孝議員、以上5名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の20件の議案は、お手元に配付している議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田 道明君） 御異議なしと認めます。よって、議案第53号、令和5年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く20件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

○議長（吉田 道明君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日からは日程表のとおり各委員会を行い、9月24日の最終日は午後3時から本会議を開催いたします。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午後0時03分散会